

令和元年 11 月 1 日
観測部
地球環境・海洋部

10 月の天候

2019 年（令和元年）10 月の日本の天候は、北・東・西日本では、気温がかなり高くなりました。台風第 19 号による記録的な大雨などで、北日本太平洋側と東日本では、降水量がかなり多くなりました。沖縄・奄美では、降水量が少なく、日照時間が多くなりました。

2019 年（令和元年）10 月の天候の特徴は以下のとおりです。

○北・東・西日本では、気温がかなり高くなりました

北・東・西日本では、暖かい空気に覆われやすかったため、気温がかなり高く、北・東日本では、10 月としては 1946 年以降で 1 位（北日本では 1 位タイ）の高温となりました。

○台風第 19 号による記録的な大雨などで、北日本太平洋側と東日本では、降水量がかなり多くなりました

台風や低気圧、前線の影響を受けやすかったことに加え、南から湿った空気が流れ込んで、たびたび大雨となったため、降水量は北日本太平洋側と東日本でかなり多くなりました。11 日から 13 日にかけては、台風第 19 号の影響で、東日本から東北地方の広い範囲で記録的な大雨となり、大きな被害が発生しました。

○沖縄・奄美では、降水量が少なく、日照時間が多くなりました

沖縄・奄美では、高気圧に覆われやすく、気圧の谷や湿った空気の影響を受けにくかったため、降水量は少なく、日照時間は多くなりました。

別紙（概況、統計値等）[PDF 形式:472KB]

https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/data/stat/tenko1910_besshi.pdf

問合せ先：観測部 計画課情報管理室 担当 村井(観測値や記録について)
電話 03-3212-8341 (内線 4154) FAX 03-3217-3615
地球環境・海洋部 気候情報課 担当 竹川(天候の解説について)
電話 03-3212-8341 (内線 3154) FAX 03-3211-8406